

2025.2.14

第 62 回技能五輪全国大会「冷凍空調技術」職種 職種連絡会議事録

1. 日時 2025 年 1 月 29 日（水） 14：00～ 16：00
2. 場所 TKP 東京駅カンファレンスセンター 2B 会議室
3. 議題
 - (1) 出席者の紹介
 - (2) 第 62 回大会について
 - (3) 第 63 回大会について
 - (4) アンケート結果について
 - (5) 第 47 回技能五輪国際大会（フランス・リヨン）の報告について
 - (6) その他
4. 配布資料
 - (1) 議事次第
 - (2) 出席者名簿
 - (3) アンケート集計結果
 - (4) リヨン大会説明用資料
5. 議事
 - (1) 全出席者の自己紹介を実施
 - (2) 第 62 回大会について
 - ① 減点事例
 - (ア) 課題 I 終了後、ポンベ類の 1 次側に残圧があった。
 - (イ) 銅管の面取り作業時に息を吹きかけた。
 - (ウ) 電磁弁付近のろう付けを冷却養生せずに行った。
 - (エ) デジタルサーモの表示分解能が 0.5℃設定だった。
 - (オ) 工具、並びに部材を（床へ）落下させた。
 - (カ) 裾を踏みながら作業していた。
 - ② 要注意事例
 - (ア) 時計停止中に選手と関係者が会話をしていた事例がみられた。競技中における選手とのコンタクトは禁止行為である。（応援等の声掛けに対しても選手に反応しないよう周知をお願いしたい。）
 - (イ) 三脚を使用した撮影は避難経路確保の観点から原則禁止となっている。撮影に立ち会えない際

は、通路から移動していただきたい。

(ウ) ペーパーテストや追加配線課題を図面等の裏側に書き写している行為が見られた。今後、配布している用紙以外は作業台上に置かないよう徹底する。

(3) 第 63 回大会について

(ア) 基本方針は 62 回大会と同様（大幅な変更なし）

(イ) 機材に関して新規導入品なし

(ウ) コンデンシングユニットの改造に関して変更なし

(エ) 主な変更点

① コイル蒸発器の寸法（高さ）変更

② デフロスト用キャピラリーの当日製作（DPS の高圧側は事前加工とする）

(オ) 会場は、62 回大会で使用した静岡県立静岡工科短大静岡キャンパスで調整中

(4) アンケート結果について

Q 1 62 回大会の競技課題に関する質問

1. 競技課題の難易度は 適切 73%(8/11)

2. 競技課題は実務に即しているか やや即している以上 100%(11/11)

3. 競技課題の量 適切 73%(8/11)

4. 競技課題の説明や指示 普通、分かりやすい 73%(8/11)

① 課題では操作弁、気密試験作業標準ではストップバルブと表現している。

→ 表現の統一を図る

Q 2 競技の実施に関する質問

1. 競技環境は 普通以上 100%(11/11)

① 冷凍機の運転に支障をきたす例があった

2. 競技時間 やや短いからやや長い 91%(10/11)

Q 3 改善点・提案

1. 競技課題の改善点

① キャピラリーカッターの使用

→ 63 回大会も持参工具に含めない予定

② ゲージを支える支柱（部材 B）についても前回と同様の予定

2. 新たな課題の提案

① トラブルシューティング

→ 今後、検討していく

3. その他

① 課題の公表

→ 課題Ⅱ、Ⅲについては現状どおり非公開とする。

② 採点項目の公表

→ 公表課題(4/10)に掲載されている。

③ PLCの利用

→ 今後、検討していく

④ 立会採点時の競技委員の対応

→ 立会採点に関わる競技委員等は事前に意思統一を図っており、進行要領に従って採点業務にあたっていると認識している。ただし、今回の意見を尊重し、公平性を保つために立会採点の方法を見直すべきか委員会で検討する。

⑤ 開催日程、場所の要望

→ 2028年の国際大会開催まで、全国大会は愛知県が共催県になることが予想されている。本職種はガス溶接装置の関係で、メイン会場での競技実施が困難であるため、他県での先行開催が避けられない状況である。愛知県内で当職種の競技運営が可能な会場候補地の情報をお持ちになっている方は中央協会までお知らせ願います。

Q4 企業の参加

1. 参加可能か どちらかと言えば参加したい以上 64%(7/11)

2. 新たな視点、アイデアがでるか ある程度以上 64%(7/11)

① 課題作成 アイデアを募集（採用するかどうかは競技委員会で協議する）

提出期限：6月末日 課題図面、使用機材など

② 採点業務 協力員として、立ち合い採点等を行ってもらうことも検討していく。

Q5 国際五輪について

1. 国際大会の課題の導入 一部を取り入れる 82%(9/11)

① 4つのモジュールのうち冷凍装置の製作と配管課題は実施済み

② 冷凍機の試運転、故障診断が未導入

2. 活躍できる選手の輩出 → 分科会での取り組み

① 広報に関すること

② 選手同士の交流の場を設ける

③ 選手の選考方法に関すること

④ 選手育成の組織に関すること

⑤ 練習の手段に関すること

(5) 第47回技能五輪国際大会（フランス・リヨン）の報告について

発表者

日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社 清水事業所

訓練指導員

① 使用言語は英語、通訳はいるが専門用語だと簡単には翻訳できない。

② 工具類はすべて支給されるため持参する必要はない。

- ③ 延べ 16 時間の競技、1 日を午前と午後に分け 4 時間ずつ 4 日間で行う。競技ブースや工具も午前、午後で共用する。
- ④ 冷蔵システムの設置、試運転、エアコンの電気と冷媒系統の故障診断、銅配管課題の 4 課題があり、競技日の 2 日前に発表される。
- ⑤ この職種はアジア勢が強く、中国、台湾が強豪国になっている。
- ⑥ 採点は加点方式を採用しており、エキスパート 3 人のグループで行う。
- ⑦ 現地の工具は、事前情報がない状態で使うことになる。また、国内の用途と異なった使い方をする材料もある。応用力がないと対応困難である。
- ⑧ 今回、参加した遠藤選手が 4 位の成績を残してくれてほっとしている。今後は国際大会で日本が勝つためのトレーニングを皆さんと一緒に考えて、取り組んでいきたいと思っています。
- ⑨ 質疑応答
 - ・国際大会を見据えた練習方法について……分科会で共有されている過去の課題を潰していった。
 - ・課題図面の寸法について……寸法指示はなく選手自身で配管ルート、機器の設置個所を決める。
 - ・ダンフォース製温度コントローラーについて……国内では流通しておらず、なかなか購入できない。
 - ・ろう付け箇所の浸透確認について……本来は実施すべきだが、国際大会では実施していない。
 - ・立会採点時のロスタイムについて……時計を止めることはない。機材トラブルのみロスタイムとなる。

(6) その他

○分科会メンバーの募集について

職種別分科会に関する情報提供を行った。

- ① 分科会とは
技能五輪国際大会の競技力強化策及びそれに付随する事項について検討を行い、その成績の向上を図るため、技能五輪国際大会選手強化委員会が設置されている。また、強化委員会の下には、職種別に専門的見地から具体的な調査・検討・実施等を行うため、職種別分科会（愛称：チーム・ジャパン）の設置が定められている。
- ② 分科会委員の選任事由
 - （ア）から（オ）に該当する者を 1 名含み、（カ）に属する者を加えて、原則として 8 名以内の委員で構成する。（謝金、旅費の支給対象）
 - （ア）技能五輪全国大会競技委員主査等 1 名
 - （イ）前回国際大会エキスパート 1 名
 - （ウ）国際大会出場選手経験者又は国際大会出場選手指導者の経験者 1 名
 - （エ）国際大会エキスパート 1 名
 - （オ）国際大会出場選手所属機関の国際大会担当責任者 1 名
 - （カ）関係機関、関係業界団体の国際大会担当責任者（関係機関については、国際大会に選手派遣することを念頭において全国大会に参加している企業等を対象とし、原則として 2 社以上を含む。）

③ 今年度の構成メンバー

競技委員主査、エキスパート、団体（日設連、日冷工）、企業（日立ジョンソンコントロールズ、JR 東日本テクノロジー、オリオン機械、オリオン精工、日本ピーマック）

○63 回大会の参加予定者

企業・団体名	人数
JR 東日本テクノロジー	2
KAWANO	1
東京冷機工業	1
日本ピーマック	2
オカムラ	1
オリオン機械	3
オリオン精工	2
日立ジョンソンコントロールズ空調	2
菱信工業	1
名古屋市立工芸高等学校	1
日本ビルコン	1
合計	17